

➤ 「復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業」に指定されました。

福島県では震災・原子力災害後のふくしまの復興・再生、急速な少子・高齢化の進展等の現状を踏まえ、高等学校段階から、英語力、幅広い教養、問題解決能力等の国際的素養を身に付けたグローバルリーダーの育成を図る「復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業」を平成 27 年度より開始いたしました。

## 1. 目的

地域課題等に対して高校生が自ら課題を設定し、グローバルな視点から探究活動等を行うことにより研究成果を地域に還元するとともに、将来本県の復興と地域活性化に貢献するグローバルリーダーを育成する。

## 2. 事業内容

- (ア) ICT活用、論文作成、プレゼンテーション技法の習得
- (イ) 課題研究の活動・実践
  - ・地域課題理解；地元企業家・大学教授等による講演、ディスカッション
  - ・大学等との連携；研究室見学、ゼミへの参加、研究の指導助言
  - ・地域調査・研究などのフィールドワーク
- (ウ) 海外研修
  - ・ふくしまの発信、英語でのプレゼンテーション、地域課題の比較考察等
- (エ) 研究成果の発信
  - ・全県対象の報告会開催、研究報告書の作成・配布

## 3. 指定期間

3 年間（平成 27 年度から 29 年度）

➤東北大学高度教養教育・学生支援機構とグローバル人材育成教育に関して教育連携協定を締結しました。(H27.3.27)

この協定は、福島県立会津高等学校が福島県における復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業の指定に基づき行うグローバル人材育成教育に関し、東北大学高度教養教育・学生支援機構が高校生を対象とした特別講座の開設等による協力・支援を行うことで高校と連携し、高校における人材育成教育の充実・発展を図り、世界で貢献する人材の育成に寄与することを目的としたものです。

協定締結式は東北大学片平キャンパス本部棟において行われ、本校箱崎校長、東北大学花輪機構長が挨拶を交わし、その後、協定書への調印を行いました。



協定締結式の様子